

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年3月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号機原子炉建屋滞留水水位計(2-R1(A))の指示値不良について】 2号機原子炉建屋滞留水水位計(2-R1(A))の指示値が上昇し、変動していることを確認。 当該水位計は2重化しており、B系の水位計(2-R1(B))の指示値に変動なし、及び現場に異常の無いことより、水位計(2-R1(A))の指示値不良と推定。 B系水位計(2-R1(B))にて水位を監視中。 当該水位計を点検予定。</p>	GⅢ	3月22日
2	<p>【既設多核種除去設備(C)からの漏えいについて】 既設多核種除去設備(C)吸着塔(5C)の吸着材充填作業に伴い、ろ過水による水張りを実施していたところ、吸着塔(6C)入口PH計ラック内のサンプルポンプ入口弁ボンネット部から漏えいが発生。 水張りを停止し、漏えいの停止を確認。漏えい水は回収済み。 なお、漏えい水は堰内にあり、外部への漏えいはなし。 確認結果、漏えい発生箇所は、3月13日に発生した吸着塔(6C)入口PH計ラックからの漏えい箇所※と同じであり、対策として漏えい箇所ボンネット部の増し締め、ビニル袋による漏えい養生を実施していたが、漏えい水が養生用ビニル袋から溢れたことが判明。 原因は、当該弁ボンネット部は増し締めにより漏えいが止まっていたものの、水張りの際、ろ過水による圧力がかかったことにより、再度漏えいが発生したものと推定。 当該弁を点検および修理予定。</p> <p>※不適合公表2020年3月18日(番号1【既設多核種除去設備(C)からの漏えいについて】)関連</p>	GⅢ	3月23日
3	<p>【地下水バイパス一時貯留タンクグループ1-1の水位計不良について】 地下水バイパス一時貯留タンクグループ1-1の水位計点検において、計器精度の許容値外れを確認。 なお、当該タンクは、グループ内の他のタンク(1-2、1-3)と連絡しており、他タンクの水位計により監視可能であり、設備の運転に影響なし。 当該水位計を交換予定。</p>	GⅢ	3月23日
4	<p>【JAEA※分析・研究施設 第1棟建設現場屋上からの断熱材の飛散について】 JAEA分析・研究施設第1棟建設工事(発電所構外)において、建屋屋上に保管していた断熱材が、強風により飛散防止ネットが外れ飛散し、約200枚が発電所構内に飛散した。 飛散した断熱材は回収済み。設備への影響およびけが人はなし。</p> <p>※JAEA: 日本原子力研究開発機構</p>	GⅢ	3月20日